

# 精麦加工適性に優れる二条はだか麦「ユメサキボシ」

農林総合研究センター（水田農業研究所）

キーワード：はだか麦、奨励品種、ユメサキボシ

## 1 技術の特徴

本県のはだか麦奨励品種「イチバンボシ」は、多収で精麦加工適性に優れる品種である。しかし、本県では小粒傾向にあり実需者から改善を求められている。さらに生産現場でも、年次によっては小粒化のために篩下が多く発生し、製品収量が減少し生産の意欲をそいでいる。そこで、大粒で整粒歩合が高く精麦適性に優れた品種で、国内初の二条はだか麦品種「ユメサキボシ」（平成20年（独）農研機構近畿中国四国農業研究センター育成）を選定した。これにより県産はだか麦の評価向上と安定生産を図る。

## 2 技術内容

「ユメサキボシ」は「イチバンボシ」と比較して次のような特徴がある。

- (1) 出穂期、成熟期は1～5日遅い。耐倒伏性はやや優れる。（表1）。
- (2) 稈長は同程度から長く、穂長は長く、穂数が多い（表1）。
- (3) 子実重はやや少ないが、整粒歩合が高く、2.2mm篩選では多収である（表1）。
- (4) 容積重はやや小さく、千粒重は大きい（表1）。
- (5) 二条で並性のはだか麦である。播性程度はI、穂発芽性はやや易、うどんこ病抵抗性は極強、赤かび病抵抗性は強、縞萎縮病抵抗性は極強である（表2）。
- (6) とう精白度が高く、精麦の品質総合評価も高い（表3）。

## 3 具体的データ

表1 奨励品種決定基本調査における成績

肥料条件	品種系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	倒伏 程度	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/ ㎡)	子実重 (kg/a)	同左 比率 (%)	容積 重 (g)	千粒重 (g)	2.0mm 整粒 歩合 (%)	2.2mm 整粒 歩合 (%)	2.2mm 整粒 子実重 (kg/a)	同左 比率 (%)	外観 品質
標肥	ユメサキボシ	4.9	5.28	0.6	83	6.6	684	57.4	94	822	37.3	96	88	50.5	113	3.6
	イチバンボシ	4.4	5.25	1.2	80	4.9	577	61.3	100	848	28.6	91	73	44.9	100	3.6
多肥	ユメサキボシ	4.9	5.29	1.7	88	6.8	828	66.2	96	826	35.7	94	84	55.8	121	3.0
	イチバンボシ	4.4	5.28	3.0	88	5.0	715	68.7	100	849	27.9	88	67	46.0	100	3.2

注)1. 農総研水田農業研究所内、水田条播(条間30cm)、播種期:11月4～8日。標肥は2003～2007年度、多肥は2005～2007年度成績。  
 施肥(Nkg/a):標肥:(基肥)0.8(追肥6葉期)0～0.2,多肥:(基肥)1.0(追肥6葉期)0～0.2。  
 2. 容積重はブラカル穀粒計による測定値、但し2003年度は1リットル秤重測定器の測定値。  
 3. 倒伏程度は、0:無,1:微,2:少,3:中,4:多,5:甚。  
 4. 外観品質は、1:上上,2:上下,3:中上,4:中中,5:中下,6:下の6段階評価。

表2 育成地(農研機構近中四農研)における特性概要

品種系統名	条性	並渦性	播性 程度	穂発芽 性	うどんこ 病抵抗性	赤かび病 抵抗性	縞萎縮 病抵抗 性
ユメサキボシ	二条	並	I	やや易	極強	強	極強
イチバンボシ	六条	渦	V	難	中	中	強

表3 精麦適性評価

試験年度	栽培地	品種系統名	原麦水分 (%)	容積重 (g/l)	千粒重 (g)	硝子率 (%)	硬度差	搗精白度 (%)	砕粒率 (%)	黒条線の広狭	精麦粒の外観品質	精麦品質総合評価	品質コメント		粒厚分布 < 2.2mm	60%歩留搗精		
													一次得点	二次得点		明度 (L)	赤み (a*)	黄み (b*)
2004-2006	水田農研	ユメサキボシ	11.2	840	39.4	44.7	8.7	42.9	1.3	18.7	AB	B	85	84	4.6	73.3	1.1	17.2
2006	熊谷現地	ユメサキボシ	11.6	794	38.2	42.0	10.4	44.9	2.0	23.0	-	C	84	79	0.4	75.4	1.3	18.2
2006	熊谷現地	イチバンボシ	11.8	845	30.7	49.3	9.5	39.7	0.1	16.0	C	C	66	65	10.7	70.5	1.6	17.3

注)H社による分析及び評価。2004～2006年度は、関東地域麦新品種等品質評価協議会大麦研究会での品質分析結果。熊谷現地は、実用技術開発事業における少量サンプル評価結果。



図1 粒の写真（左からユメサキボシ押し麦、ユメサキボシ原麦、イチバンボシ原麦）

#### 4 適用地域

県北はだか麦作付け地域

#### 5 普及指導上の留意点

- (1) 成熟期がやや遅く、穂発芽性がやや易であることから、播種時期を11月上旬とし、播種が遅れないように注意して成熟期が梅雨時期にかからないようにする。また、収穫時も天候に注意し刈遅れないようする。
- (2) 高品質生産のため篩目は2.2mmで調整する。

#### 6 試験課題名（試験期間）、担当

麦類奨励品種決定調査(2003～2007年度)、実需者のニーズに応える北関東麦生産システムの確立研究(新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業)(2007～2009年度)、米・麦担当